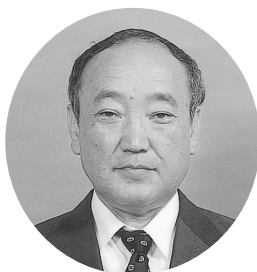


## 子育て支援策と成果は

町長／様々な支援を実施した



平八重光輝議員

平八重 施政方針の中で、子供を産み育てやすい環境づくりに務めたところがあるが、具体策とその成果は、

町長 保育料は、国の基準額より、3割の減額、町独自策として第3子以降に月額2500円を支給しました。また、延長保育や一時保育、障害児保育の実施や児童虐待の早期発見や防止、乳幼児医療費助成、母子健診などに取り組みました。

## 住民と行政の協働は 町長／地域の活力 や維持が重要

平八重 高齢化、人口減の中、住民と行政の協働によるまちづくりが重要である。これまでの評価と今後のあり方は、

町長 地域活動支援事業や地域窓口職員制度により集落支援に努めました。地域の計画づくり、イベントの運営、支援と地域活動を支えるなど評価していきます。これからも一体となり地域活動の活性化、活力ある地域づくりを推進します。



1歳6ヶ月児健康診査

## 家畜市場再編対策調査 特別委員会の最終報告

当委員会は、平成17年に設置されて以来、関係団体との協議等を行い、「薩摩中央家畜市場の統合市場としての再編整備・誘致に向けた取り組みについて」調査を行い、中間報告を行う等取り組んでまいりました。

### （現在の状況）

家畜市場の開催権を持つ鹿児島県経済農業協同組合連合会は、協議会等を開催し次のような内容の検討を行っています。

- ①本土地区については、1回の子牛せり市日程が毎月連続3日程度開催できる規模並びに交通アクセス等を考慮する。
- ②薩摩半島での家畜市場数については、これまでの1市場の考えに2〜3市場の案を加え、5つの再編例を示し検討を行っています。

しかしながら、農協合併の問題や市場再編に向けての各種課題等があることから、現在「家畜市場再編」についての具体

的な協議は行われていない状況にあります。

### （今後の取り組み）

「家畜市場再編」については、現在のところ再編の動きはみられません

が、農協の合併問題並びに鹿児島県経済農業協同組合連合会及び各関係団体の動向を注視する必要があります。

課題となっていた優良雌牛の保留、補助金の格差是正、道路網の整備等については、これまで対策が講じられつつありますが、今後も更に関係機関と連携をとりながら各種課題等の条件整備に向けて、取り組みを進めていく必要があるとの意見の一致をみたところであります。



薩摩中央家畜市場